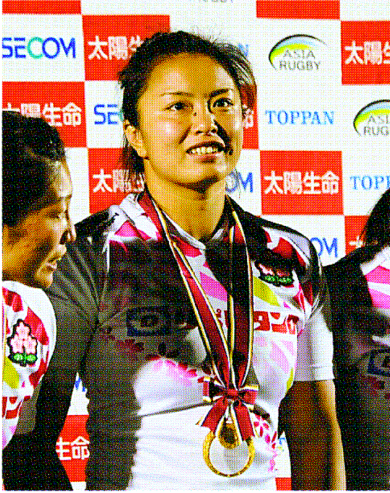




7人制ラグビー 女子日本代表

桑井 亜乃さん(26)



五輪でさらに恩返しを

「すごいうれしかった。今までは感じたことのない気持ちです。観客の皆さんの大声援にも感動しました。日本代表の主力としてアジア予選東京大会の優勝を決め、喜びに浸る。

ラグビーを本格的に始めたのは2012年4月。それまでは陸上投てき種目の選手だった。帯農高2年の時に国体の円盤投げで5位に入賞。中京大時代にはハンマー投げの室伏広治さんから指導を受けたこともあった。幕別小3年からアイスホッケーにも取り組むなど、スポーツを込める。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

171センチと「地元に戻ると気が緩むかも。チーム一の長身。陸上選手も取り組むなど、スपोर्टスな色を込める。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

171センチと「地元に戻ると気が緩むかも。チーム一の長身。陸上選手も取り組むなど、スपोर्टスな色を込める。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

「五輪を決めたことではない人な人に恩返しできた。次は五輪でメダルを取ってさらに恩返しをしたい」と気持ち。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

171センチと「地元に戻ると気が緩むかも。チーム一の長身。陸上選手も取り組むなど、スपोर्टスな色を込める。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

171センチと「地元に戻ると気が緩むかも。チーム一の長身。陸上選手も取り組むなど、スपोर्टスな色を込める。両手の爪には五輪の色をあしらったネイルも万能だ。

くわい・あの1989年幕別町生まれ。幕別小、幕別中、帯農高、中京大、立正大学院卒。埼玉県熊谷市の八木橋百貨店に勤め、クラブチームのアルカス熊谷所属。

体重は5キログラムアップしたが、体脂肪は17%台に減らし、ラグビー仕様の筋肉を身に付けた。FWとして相手と激しいぶつかり合いを繰り返しても「チームが勝てるなら全然平気です」。